

三菱自動車、新型クロスカントリーSUV『パジェロ』を2026年秋に世界初公開 ～三菱自動車を象徴するモデルが7年ぶりに復活～

三菱自動車工業株式会社（以下、三菱自動車）は、新型クロスカントリーSUVの車名を『パジェロ』に決定し、2026年秋に世界初公開することを発表しました。

日本仕様は2019年に生産終了しており、国内では7年ぶり*の復活となります。

* 海外向け仕様は2021年に生産終了



『パジェロ』はクロスカントリー4WD車の走破性に乗用車の快適性を融合させた新コンセプトのRV（現在のSUV）として、1982年に初代モデルを発売。以降、4世代にわたり世界170以上の国と地域で累計325万台以上を販売した、三菱自動車を象徴するクロスカントリーSUVです。

世界一過酷なダカールラリーに1983年から参戦、7連覇を含む通算12勝を挙げ、クロスカントリーSUVとして比類なき悪路走破性、操縦安定性、信頼耐久性を実証し、世界中のお客様から高い評価をいただけてきました。国内では90年代のRVブームを牽引し、アウトドアレジャー文化の普及に大きく貢献したモデルであり、『パジェロミニ』や『パジェロジュニア』、『パジェロイオ』をシリーズ展開してしました。

今秋に世界初公開する新型『パジェロ』は、高い堅牢性を誇るピックアップトラック『トライトン』のラダーフレームをベースに改良を施し、キャビンや前後サスペンションなどを専用開発することで、卓越した悪路走破性はもとより、上質かつ快適な乗り心地を実現。三菱自動車の冒険心と挑戦心を象徴する新たなフラッグシップモデルとして開発を進めています。

新型『パジェロ』スペシャルサイト

<https://www.mitsubishi-motors.co.jp/lineup/pajero/teaser/>

以上

三菱自動車について

三菱自動車は、ラリー活動で培った四輪制御技術と、長年にわたり蓄積してきた電動車開発の知見を有する自動車メーカーです。ルノー・日産アライアンスの一員として、日本およびアセアン諸国に生産拠点をもち、グローバルで約 28,000 名の従業員が働いています。プラグインハイブリッド EV の『アウトランダーPHEV』、ピックアップトラック『トライトン』、軽自動車『デリカミニ』など、あらゆる路面状況や使用環境に対応可能な商品ラインアップを通じて、お客様の冒険心を喚起し、心豊かなモビリティライフを提供することを目指しています。三菱自動車は、鍛え上げた四輪制御技術や電動化技術を活かした「三菱自動車らしい」個性的な商品を創出すべく、技術をさらに磨き上げ、真摯にクルマづくりに向き合い、引き続きお客様にワクワクするようなモビリティライフをお届けしてまいります。詳細については、当社ホームページをご覧ください。

<https://www.mitsubishi-motors.com/jp/company/information/index.html>